



川俣小学校「学校だより」
輝くひとみ

令和5年8月31日(木) 第9号

みんなでのびる

☆高め合う子

☆助け合う子

☆きたえ合う子

発行者 校長 小野真教

2学期 (85日) 始業2週間経過

例年になく暑さが続いています。子どもたちは毎日元気に登校しています。先日、北海道の小学2年生が熱中症で亡くなる痛ましい事故がありました。学校では、熱中症警戒アラートや暑さ指数の測定を基に、水泳を含めた運動の可否を決定して子どもたちに知らせ、注意を呼びかけています。命が第一ですので、暑さが和らぐまで熱中症対策をしっかりと行っていきます。また、コロナウイルス感染症患者は日を追うごとに増え、現在は2000人を超えています。こちらも、引き続き感染対策を行っていきいますが、ご家庭でも基本的な感染対策にご協力ください。

さて、2学期が始まり約2週間となりました。2学期は、新たな不登校やいじめが起きないように、教職員一同気持ちを引き締めて教育活動に当たっていきます。

再編2年目となり、大きな集団での生活にもだいがなれてきたようですが、どうしても学校生活になじめず不安や戸惑いを感じている子どもも少なくありません。本校では、子どもの悩みや不安、保護者の皆様の子育ての悩み等の相談のためにSC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)がいます。活用を希望される方は担任にお知らせください。また、学校への要望等がありましたら、いつもでお電話ください。よろしく願います。

24・25
日にいわき
海浜自然の
家で行われ
た5年生の
宿泊学習は、

5年生宿泊学習終了 (いわき海浜自然の家)



天候に恵まれ海での活動を思う存分楽しむことができました。いかだ乗りやボディボードでは、全員の笑顔がはじけ、時間を忘れて活動していました。海風が心地よく、水温もちょうど良かったので活動には最適でしたが、日差しの強さは川俣と変わらず熱中症に気をつけながらの活動となりました。夜のキャンドルファイヤーでも、

班ごとに練習したスタンツを披露し楽しいひとときを過ごしました。集団で宿泊することできまりを守る大切さ、協力することの意義、思いやりをもって接することの大切さなど学校だけでは学べない皆さんの財産を得ることができたと思います。この宿泊学習を通して、心が一回り大きくなり、これからの学校生活が一層充実したものになることを期待しています。

サツマイモからメタンガス (イモエネルギー教室)



今年度も近畿大学の鈴木高広先生をお迎えし、5年生を対象に「イモエネルギー教室」が開かれ、サツマイモからメタンガスを発生させる仕組み等を学びました。CO2の削減にもつながるイモエネルギーは地球温暖化を防ぐのに役立ちます。各自持参したペットボトルを使って一人一人がメタンガスの作成に挑戦しました。約1週間でメタンガスができます。また、2年生が育てているサツマイモの生育状況を見てアドバイスもいただきました。

新しいALTの先生、 福大大学院の先生



イギリス出身のアクラムンド・ムハマド・ダニアル先生です。好物はマグロの刺身と牛丼です。



本校は、福大大学院の連携協力校で、院生の山内健太郎先生が一ヶ月に数回実習に来ています。山内先生は現職の教員です。